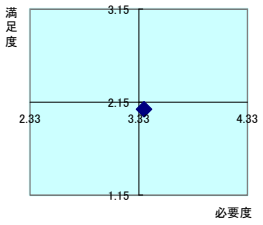
平成 23 年度　2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	26	環境問題などに協働して取り組む	評価責任者（基本施策主管課長）	環境政策課長 山岡　久芳

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系		
	基本目標	意欲
	政　策	環境への取り組みが進むまちづくり

		②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果
① 市民意識調査結果		必要度、満足度ともに平均に近いが、満足度は平均をやや下回っている。省エネ活動や地球温暖化については、数値で表せる部分が少ないこともあるので、満足度が少ないのではないかと考える。また、産廃処理場周辺についても、環境保全も全て受けることは難しいため、平均値である。
③ 基本施策の現況と課題	産業廃棄物最終処分場周辺地域においての環境整備事業については、地元自治会の立会いの下、事業を進めているが事業規模が小さい上にそれぞれに点在しているため事業着手が遅くなる。また、EMS事業については、伊賀市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)も策定したので、職員及び各職場への周知を行い、二酸化炭素排出削減を目指す。	
④ 基本施策の意図、今後の展望	産業廃棄物処理場周辺の環境整備は三重県からも補助金を受け、昨年度は17件行った。しかし、補助率1／2につき、伊賀市の財政も非常に厳しい面があり、三重県に対して補助金の上限アップ及び補助率の見直しを要望する。また、伊賀市環境マネジメントシステム推進事業については、各職場の進捗状況の把握に努める。	

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる基本施策指標候補	優先順位
事業規模の見直し	事業進捗率	1

基本施策指標名			単位	過年度実績 H21	過年度実績 H22	評価年度 H23	目標値 H25	目標値 H27	ベンチマーク	指標の説明
1	事業進捗率	目　標	%	100	100	100	100	100		事業は、単年度事業であるため計画どおり執行したかを進捗率で判断するため。
		実　績	%	100	100					
		達成率	%	100.0	100.0					

⑥基本施策構成事務事業の評価

	基本施策を構成する事務事業名 担当課	ＩＤ	事　業　名	改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円） H22　決算額	H23　予算額	H24　所要額	優先順位
1	伊賀支所住民福祉課	486	環境保全対策事業	無	5,164	3,741	3,741	2
2	島ヶ原支所住民福祉課	487	環境保全対策事業	無	3,616	3,629	3,629	2
3	環境政策課	493	産業廃棄物最終処分場周辺環境整備事業	無	19,973	20,744	15,000	1
4	環境政策課	495	伊賀市環境マネジメントシステム推進事業	無	2,292	3,479	1,540	3
5								
6								
7								
8								
9								
10								
（　以下　　続紙　）								
事業費　合計					31,045	31,593	23,910	

⑦　⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等

⑧　基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1　基本施策指標の分析	最終処分場周辺地域における住みよい環境づくりの基盤を図るため継続した支援が必要である。環境マネジメントシステム推進事業につては、省エネ法の改正に基づきエネルギー使用量の把握に努める。
2　事業構成の適当性（手段として最適か？）	最終処分場の周辺地域においての生活基盤の整備を行なうため生活道路改良や側溝整備、公園整備等を実施した。また、環境基本計画、地球温暖化防止実行計画作成を行った。
3　役割分担の妥当性	個々の事業規模が小さいため、事業着手が遅いが各事業課と連携を密にして事業推進を行う。また、全職員に地球温暖化防止実行計画の周知を図り認識の向上を進める。
4　総合評価（今後の展開、事業の見直し等）	産業廃棄物最終処分場周辺地区の住民の安全、安心面を考え敏速な整備対応を行なっている。今後の展開として住環境の整備と地域の環境保全に努める。なお、事業着手が遅い部分については、H22以降、担当課と協議を行い、ゆとりのある執行計画を立てるようにする。また、伊賀市環境マネジメントシステム推進事業については、進捗管理及び達成状況の把握に努め環境管理推進会議に諮り改善点を見出す。